

「気づけたモノ」

福智高等学校通信制課程単位制 3年 松岡 ひかり

18歳

私はいじめられたことが原因で、人づきあいがうまくできなくなり、中学・高校とずっと不登校生でした。小学生の時、2度のいじめにあったことで、私の心はひどく傷つき、倒れて気を失うことがありました。

中学校に入学した頃は新しい環境に馴染めず、担任の先生ともうまくいかず、それならと部活に入りましたが、部活の中で人間関係をうまく作れないまま不安だけが大きくなっていきました。また2年生になると、クラス替えがあり、そこでずっと私を苦しめる原因を作った子と同じクラスになりました。その子はクラスの中で、ムードメーカーのような存在になっていました。その子が先生からも信頼され、とても楽しそうに見えるたびに私は複雑な気持ちになり、そういう感情を抱くにも罪悪感を覚えました。それを誰にも相談できず抱え込んでいるうち、教室にも部活にも行けず、また倒れることが多くなり、心も体もボロボロになっていきました。

部活を辞め、3年生になり、それでもまだ学校へはあまり行けませんでした。2学期後半、私は少しでも行こうと保健室登校を始め、卒業間近になってやっと教室に入れるようになり、中学校を卒業しました。

高校生になった私は中学時代にできなかったことを高校でやろうとしましたが、それがまた私を苦しめることになり、2年生の2学期頃には、また倒れ、気を失う日々を送るようになりました。そんな私の姿を見ていた母が休学を勧め、少しの間学校を休むことにしました。しかし、高校の卒業はしておかなければという思いともう学校には行きたくない思いが強くなり、それなら少しずつ行ける単位制はどうかと勧められ、私は週に一度のスクーリングだけなら大丈夫か

もしれないと思い、福智高校の通信制課程に入学することを決めました。

福智高校に入学してからも私は、日曜日のスクーリングだけでもとても辛く、休みの日も自分だけ努力や頑張ることをしていないような気がして、それが嫌で、アルバイトなどをしてみましたが、すぐに辞めてしまい、また自分を責めてしまいました。そんな日々が続いていたとき、託児ボランティアを母が以前していたことを思い出し、そのボランティアに参加しようと思いました。

託児ボランティアは、生後3ヶ月から保育園・幼稚園に通うまでの子ども達を、1時間から3時間程度預かるというものでした。託児ボランティアに来る子達の大半は赤ちゃんなので、お母さんから離れるとずっと泣きっぱなしです。でも、泣きながらも最初に抱っこしてもらった人から離れずに小さい手でずっと腕をにぎっていて、最後には泣き疲れて眠り、とつてもかわいい寝顔を私たちに見せてくれます。子どもたちの成長は早く、ずっと泣いていた子も託児所に来るたびに少しずつ泣かなくなり、最初から遊びだす子になったり、とみんな成長しているところを見ると、私は心がとつても癒されていることに気づきました。私はこの子達のために、またこれから生まれてくる子どもたちのため、その子たちのお母さんのために役に立てる仕事がしたいと思うようになり、保育士になるという夢ができました。託児ボランティアをすることで、私も少しずつ成長でき、心にゆとりができました。すると、学校に行くこともだんだん苦痛ではなくなり、余裕を持って行けるようになりました。多分できないだろうと思っていた友達ができ、友達ができると怖くて参加できなかった学校行事にも参加してみようという気持ちになり、楽しい思い出ができるまでになりました。また、先生から生徒会を進められ、今では、生徒会の会長をやらせていただいています。こうして挑戦してみようと思えたのも、私がいりいな人に助けってもらってきて、また会うときに安心して、喜んでもらえるような報告がしたいからだと思います。

いじめられたとき、私のために泣いてくれたり、みんなに怒ってくれた先生。学校を早退するとき、いつも笑顔で迎えに来てくれ、早く元気を出せと背中を叩いてくれた祖母。あまり行動には示さないけれど、悩みを言えばちゃんと聞いてくれた父。母と喧嘩したときに間に入って、両方の悩みを聞いてくれた姉や妹。そして、毎日私と喧嘩して、時に

は私がひどいことを言っても、ずっとそばにいてくれて、味方でいてくれて、私のことを強く抱きしめてくれた母。他にも、陰ながら心配してくれている多くの方々にも助けられました。今は、この福智高校で出会えた友人や先生方、生徒会の方達に助けられています。

これだけの人が私の人生に関わって下さり、そのおかげで私は今、自分が嫌になるほど行けなかった学校に毎週行っています。

苦しい出来事を体験している時には、支えてもらえていることが申し訳なく辛いと感じることがありました。でも今は、とても感謝しています。

過去を振り返るのはとても辛いことです。それに、過去はいつでも付きまとい私たちを苦しめます。私もいつも振り返っては自分を傷つけてきました。過去に向き合い、その過去を軽くするのはとても難しいことだと思います。

私も以前まではできませんでした。でも、福智高校に入って、一日だけでも学校に行けることで、知らない間に自信ができていたのだと思います。私は学校も、部活も、アルバイトも、何一つ続かなかったけれど、福智高校に行くことだけは続いています。それが何よりうれしくて、そのうれしさが、過去と向き合える勇気が変わってくれました。そうすると、以前のような私を苦しめるだけの過去ではなくなり、私を助けてくれた人達がたくさんいて、私は本当に幸せ者なんだなと気づかせてくれる、大切な過去になっていました。

少しの勇気がこんなに大切なことを気づかせてくれ、いじめが原因で人を信じられなかった私が、今は少しでも誰かを信じてみようと思えるようになり、これまで私を助けてくれていた人たちに少しでも応えられるように努力し、夢を叶え、今度は私が誰かを助けたいと前を向けています。